

理工情報生命学術院  
システム情報工学研究群

| 学位プログラム名          | 課程     | アドミッションポリシー |  |
|-------------------|--------|-------------|--|
|                   | 博士前期課程 | 求める人材       | 工学的基礎能力(数学あるいは論理的思考力)を有し、資産・資源のデザイン(ファイナンス・最適化)、空間・環境のデザイン(都市計画)、組織・行動のデザイン(行動科学)の3つの分野のうち1つの分野に関する基礎的知識を備えた人材を求める。  |
|                   |        | 入学者選抜方針     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外から優秀かつ多様な人材を受け入れるため、推薦入試、一般入試、及び、社会人特別選抜等、時期および定員の異なる複数の入学試験を実施する。</li> <li>・入試の種類に関わらず口述試験を必須とする。</li> <li>・外国語の成績には TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用スコア票を利用する。</li> <li>・推薦入試では、成績が優秀で社会工学分野の研究に必要な能力が特に優れた者を選抜する。</li> <li>・一般入試では、一定の基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、基礎力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul>                           |
| 社会工学<br>学位プログラム   | 博士後期課程 | 求める人材       | 工学的基礎能力(数学あるいは論理的思考力)及び資産・資源のデザイン(ファイナンス・最適化)、空間・環境のデザイン(都市計画)、組織・行動のデザイン(行動科学)の3つの分野全般の知識を有し、うち1つの分野に関する専門的知識を備えると共に、博士前期課程または修士課程修了者程度の問題解決能力を有する人材を求める。   |
|                   |        | 入学者選抜方針     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外から優秀かつ多様な人材を受け入れるため、内部進学制度選抜、一般入試、及び、社会人特別選抜等、時期および定員の異なる複数の入学試験を実施する。</li> <li>・入試の種類に関わらず口述試験を必須とする。</li> <li>・外国語の成績には TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用スコア票を利用する。</li> <li>・内部進学制度選抜では、社会工学位プログラム(博士前期課程)の修了予定者の中から、高い基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・一般入試では、一定の基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、基礎力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul> |
| サービス工学<br>学位プログラム | 博士前期課程 | 求める人材       | 工学的基礎能力(数学あるいは論理的思考力)を有し、資産・資源のデザイン(ファイナンス・最適化)、空間・環境のデザイン(都市計画)、組織・行動のデザイン(行動科学)の3つの分野のうち1つの分野に関する基礎的知識を備えた人材を求める。  |
|                   |        | 入学者選抜方針     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外から優秀かつ多様な人材を受け入れるため、推薦入試、一般入試、及び、社会人特別選抜等、時期および定員の異なる複数の入学試験を実施する。</li> </ul>   |

|                         |        |         |   |
|-------------------------|--------|---------|---|
|                         |        |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入試の種別に関わらず口述試験を必須とする。</li> <li>・外国語の成績には TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用スコア票を利用する。</li> <li>・推薦入試では、成績が優秀でサービス工学分野の研究に必要な能力が特に優れた者を選抜する。</li> <li>・一般入試では、一定の基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、基礎力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul>  |
| リスク・レジリエンス<br>工学学位プログラム | 博士前期課程 | 求める人材   | <p>広い範囲のリスクに関する理解と対策に関心を持ち、学際的立場からリスク・レジリエンスに関わる現実の問題について、分野横断的な俯瞰力をもってその解明と評価に取り組もうとする人材を求める。本学位プログラムで学ぶにあたって、特定分野の知識は必須ではないが、基礎としての数学や情報処理技術に関心を持ち、一方で、実社会で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、さらに産学連携や社会連携、教育研究成果等の社会還元について向上心をもつ人を歓迎する。</p>  |
|                         |        | 入学者選抜方針 | <p>入学者の選抜にあたっては、推薦入試、一般入試、社会人特別選抜などの入学者選抜方式によって多様な入学志願者に対応するとともに、募集人員を分割し同一年度内に複数回の入学試験を実施する。入学者は口述試験、さらに、分野の特性に応じて、出願資格を満たす成績証明書を利用して選抜するものとし、外国語については、TOEIC の公式認定証、TOEFL の受験者用スコア票の提出によって実施するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入試では、成績が特に優秀でリスク・レジリエンス工学分野における十分な知識と研究能力を有する者を選抜する。</li> <li>・一般入試では、一定の基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、基礎力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul> |
|                         | 博士後期課程 | 求める人材   | <p>広くリスクに関する理解と対策に関心を持ち、学際的立場からリスク・レジリエンスに関わる現実の問題について、分野横断的な俯瞰力をもってその解明と評価に取り組もうとする人材を求める。工学の基礎としての数学や情報処理技術の基礎力を備え、実社会で国際的に活躍するための語学力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を持ち、産学連携や社会連携、教育研究成果等の社会還元について向上心をもつ人を歓迎する。</p>  |
|                         |        | 入学者選抜方針 | <p>入学者の選抜にあたっては、一般入試および社会人特別選抜などの入学者選抜方式によって多様な入学志願者に対応するとともに、募集人員を分割し同一年度内に複数回の入学試験を実施する。入学者はプレゼンテーションと試問からなる口述試験により選抜する。また、社会人特別選抜の枠内において、社会人が在職のまま東京キャンパスにおいて教育を受けることができる昼夜開講制(社会人のための昼夜開講プログラム)を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部進学制度選抜では、リスク・レジリエンス工学学位プログラム(博士</li> </ul>   |

|                     |        |         |   |
|---------------------|--------|---------|---|
|                     |        |         | <p>前期課程)の修了予定者の中から、特に高い基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般入試では、一定の基礎力及び研究能力を備えた人材と選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、基礎力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul>   |
| 情報理工<br>学位プログラム     | 博士前期課程 | 求める人材   | <p>本プログラムでは、情報分野や数理分野に関する基礎的素養を持ち、大学院において情報分野あるいは情報・数理分野に関する専門的知識や技術力、基礎的研究開発能力、実践力を身につける強い意欲を持つ人材を国内外から広く求める。</p>  |
|                     |        | 入学者選抜方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外から優秀かつ多様な人材を受け入れるため、推薦入試、一般入試、及び、社会人特別選抜等、時期および定員の異なる複数の入学試験を実施する。</li> <li>・入試の種別に関わらず外国語(英語)の成績は必須とし、その成績には TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用スコア票を利用する。</li> <li>・一般入試、推薦入試及び社会人特別選抜では、書類および口述試験によってコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を含む総合的な能力を評価する。</li> </ul>  |
|                     | 博士後期課程 | 求める人材   | <p>本プログラムでは、情報分野に関する専門的知識と技術力、および理工学のいずれかの問題領域に対する強い関心を持ち、専門的知識や技術力、専門的研究開発能力、実践力を身につける強い意欲を持つ人材を国内外から広く求める。</p>  |
|                     |        | 入学者選抜方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外から優秀かつ多様な人材を受け入れるため、内部進学制度選抜、推薦入試、一般入試、及び、社会人特別選抜等、時期および定員の異なる複数の入学試験を実施する。</li> <li>・入試の種別に関わらず口述試験及び外国語(英語)の成績は必須とする。外国語の成績には TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用スコア票を利用する。</li> <li>・内部進学制度選抜では、情報理工学位プログラム(博士前期課程)の修了予定者の中から、高い基礎力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・一般入試では、一定の基礎力及び研究能力を備えた人材と選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、基礎力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul> |
| 知能機能システム<br>学位プログラム | 博士前期課程 | 求める人材   | <p>知能機能システム分野の学習および研究に必要な数学力と英語力、数理的な思考力があり、修士の学位にふさわしい研究力、専門知識、倫理観を身に付ける資質をもち、かつ知能機能システム分野の専門技術者や研究者を目指す人材を求める。</p>  |
|                     |        | 入学者選抜方針 | <p>学内、学外、社会人を問わず広く優秀な人材を求めることを基本方針とする。入学者の選抜にあたっては、推薦入学試験、一般入学試験、社会人特別選抜などの入学者選抜方式によって多様な入学志願者に対応するとともに、募集定員を分割し同一年度内に複数回の入学試験を実</p>  |

|                      |        |         |  |
|----------------------|--------|---------|--|
|                      |        |         | <p>施する。試験区分にかかわらず外国語（TOEIC の公式認定証または TOEFL の受験者用スコア票を出願時に提出）と口述試験を必須とし、これらに加えて 8 月期（一般入学試験及び社会人特別選抜）のみ成績証明書を加えて選抜するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入学試験（7 月期）では、当学位プログラムを第一志望とし、成績が優秀で知能機能システム分野の研究に必要な能力が特に優れた者を選抜する。</li> <li>・第 1 回一般入学試験（8 月期）では、数学・英語等の基礎学力が高く、志望理由が明確で研究計画の具体性や着想の点で優れている者を選抜する。また、第 2 回一般入学試験（2 月期）では、それらに加えて卒業研究（またはそれに代わるもの）を評価して選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜（8 月期、2 月期）では、これまでの研究または社会的経験を評価に加え、可否の判定も一般入学試験とは独立に行うことによって、意欲と能力のある社会人（または社会的経験を有する者）を積極的に受け入れる。</li> </ul> |
|                      | 博士後期課程 | 求める人材   | <p>知能機能システム分野の最先端の研究に必要な数学力と英語力、数理的な思考力があり、博士の学位にふさわしい研究力、専門知識、倫理観を身に付ける資質をもち、かつ知能機能システム分野における研究者または高度専門職業人として学術や社会の発展に貢献することを目指す人材を求める。</p>   |
|                      | 博士後期課程 | 入学者選抜方針 | <p>内部進学制度選抜、一般入試、社会人特別選抜によって多様な入学者を選抜する。試験区分にかかわらず口述試験を必須とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部進学制度選抜では、知能機能システム（前期課程）学位プログラム（H31 年度入試までは知能機能システム専攻前期課程）の修了予定者の中から、高い基礎力と研究力を備え、日本学術振興会特別研究員（DC1 または DC2）への採用または本学位プログラムの早期修了が見込まれる人材を選抜する。</li> <li>・一般入試では、一定の研究力およびその他の能力を備え、標準年限での修了が見込まれる人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、研究力その他の能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。また、在職のまま修了したい、長期履修制度を利用して標準年限を超えて修了したい、社会人のための早期修了プログラムを利用して 1 年で修了したい、といった希望に応じたアドミッション・ポリシーで試験を実施し、希望通りの修了が見込める人材を選抜する。</li> </ul>          |
| 構造エネルギー工学<br>学位プログラム | 博士前期課程 | 求める人材   | <p>学士課程レベルの数学、物理学および英語の基礎学力を十分に備えた上で、機械、航空宇宙、建築、社会基盤、エネルギーなどの工学分野に興味を持ち、人類の発展に貢献する発想豊かな技術者あるいは研究者を志す人材を求める。</p>  |
| 構造エネルギー工学<br>学位プログラム | 博士前期課程 | 入学者選抜方針 | <p>学外から優秀な人材を積極的に受け入れるため、他大学の出身者、社会人、外国人留学生が受験しやすい入試方法を採用する。推薦入試、一般入試および社会人特別選抜により多様な入学志願者に対応するとともに、募集定員を分割し同一年度内に複数回の入学試験を実施す</p>   |

|                      |         |         |   |
|----------------------|---------|---------|---|
|                      |         |         | <p>る。一般入試では口述試験の結果、出願資格を満たす成績証明書、および TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用スコア票に基づく外国語の成績を利用して選抜する。推薦入試および社会人特別選抜では口述試験の結果により総合的に選抜する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入試では、成績が特に優秀で構造エネルギー工学分野における十分な知識と研究能力を有する者を選抜する。</li> <li>・一般入試では、工学系の学士課程を優秀な成績で卒業できる基礎学力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、上記の基礎学力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul>                     |
|                      | 博士後期課程  | 求める人材   | <p>修士学位を取得済みまたは取得予定であり、構造エネルギー工学関連分野の基礎学力を十分に備えた上で、機械、航空宇宙、建築、社会基盤、エネルギーなどの工学分野に興味を持ち、人類の意発展に貢献する発想豊かな技術者あるいは研究者を志し、各分野において指導的な立場で活躍することを目指す人材を求める。</p>   |
|                      |         | 入学者選抜方針 | <p>学外から優秀な人材を積極的に受け入れるため、他大学の出身者、社会人、外国人留学生が受験しやすい入試方法を採用する。一般入試および社会人特別選抜では、これまでの研究内容および今後の研究計画のプレゼンテーションの後、関連事項について諮問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部進学制度選抜では、構造エネルギー工学学位プログラム(博士前期課程)の修了予定者の中から、特に高い基礎学力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・一般入試では、工学系の修士課程を優秀な成績で修了できる基礎学力及び研究能力を備えた人材を選抜する。</li> <li>・社会人特別選抜では、上記の基礎学力及び研究能力に加え、社会人としての実績や経験を評価する。</li> </ul> |
| エンパワーメント情報学<br>プログラム | 一貫制博士課程 | 求める人材   | <p>本質を探究し実問題を解決する応用力、多角的で複眼的な俯瞰力と、最先端の新しい学問領域の地平を切り開く独創力等、専門分野における十分な研究能力を有し、現実の社会に広がるさまざまな地球規模課題に取り組むリーダーとなる資質と強い熱意を持ち、かつ産業界でのグローバルリーダーを目指すキャリア志向のある人材を求める。</p>  |
|                      |         | 入学者選抜方針 | <p>学術性と実践力の両立にふさわしい人材を選抜することを基本方針とする。入学者の選抜にあたっては、推薦入学試験と一般入学試験によって多様な入学志願者に対応するとともに、募集定員を分割し同一年度内に複数回の入学試験を実施する。試験区分にかかわらず外国語 (TOEIC の公式認定証または TOEFL の受験者用スコア票を出願時に提出)と口述試験を必須とし、これらに加えて 8 月期のみ成績証明書を加えて選抜するものとする。口述試験では研究計画とキャリアプランに関する試問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入学試験(7 月期)では、当学位プログラムを第一志望とし、成績が優秀でエンパワーメント情報学の研究に必要な能力が特に優れた者を選抜する。</li> </ul>   |

|                                 |        |         |  |
|---------------------------------|--------|---------|--|
|                                 |        |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回一般入学試験(8 月期)では、数学・英語等の基礎学力が高く、志望理由が明確で研究計画とキャリアプランの具体性や着想の点で優れている者を選抜する。また、第 2 回一般入学試験(2 月期)では、それらに加えて卒業研究(またはそれに代わるもの)を評価して選抜する。</li> </ul>  |
| ライフイノベーション<br>(生物情報)<br>学位プログラム | 博士前期課程 | 求める人材   | 生物情報分野におけるイノベーションを実現する意欲、その実現に必要な専門知識および高度英語実践力を修得するに十分な素養を持つ人材を求める。   |
|                                 |        | 入学者選抜方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類審査により、本学位プログラムで学ぶために必要な学士レベルの知識を有しているか、研究背景・将来の展望を英語により文章で説明できる能力があるかを評価する。</li> <li>・英語能力試験により、本学位プログラムで学ぶために必要な英語能力(CEFR 基準で B2 以上)を有しているかを評価する。</li> <li>・口述試験により、生物情報分野におけるイノベーションを実現する意欲、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。</li> </ul>                                   |
|                                 | 博士後期課程 | 求める人材   | 生物情報分野におけるイノベーションの実現が期待される研究基礎力、その実現に必要な専門知識、国際社会において研究に関わるあらゆる活動を行うのに十分な英語の運用能力の修得に十分な素養、を持つ人材を求める。   |
|                                 |        | 入学者選抜方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類審査により、修士レベルの専門知識を有しているか(在籍課程での成績が優秀であるか)、研究背景・研究計画および研究成果の社会還元について英語で具体的に説明できる能力があるかを評価する。</li> <li>・英語能力試験により、本学位プログラムで研究活動を行うために必要な英語能力(CEFR 基準で B2 以上)を有しているかを評価する。</li> <li>・口述試験により、生物情報分野におけるイノベーションを実現するための意欲および必要な研究基礎力、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。</li> </ul> |